

看護や医療の仕事 高校生理解深める

岐阜保健大で講座

看護・医療職を志す高校生
のためのキャリアデザイン



理学療法士による歩行機能回復
のための訓練の様子を見学する
高校生ら＝岐阜市東鶉、岐阜保
健大

ン講座が30日、岐阜市東鶉の岐阜保健大であり、県内の高校生や保護者約40人が、職種ごとの仕事や働き方などへの理解を深めた。

同大は、来年度に予定する県内初の4年制リハビリテーション学部の開設に向けて準備を進めている。進路選択を控える高校生に、各職種の役割を知ってもらおうと講座を開いた。

看護師や理学療法士、作業療法士、鍼灸師、柔道整復師の役割や勤務体系を同大の教授らが説明。医療や介護の現場だけでなく、スポーツや美容の分野でも活躍していると紹介した。また、身体の障害がある

脳卒中患者を例に、看護職とリハビリ職が連携して進めるケアの様子を寸劇で紹介。職種間で体調などの情報を共有した上で、患者に丁寧な声掛けをして運動機能回復の訓練に当たっている様子を見せた。

各務原高2年の武井颯大さん(16)は「丁寧な声を掛ける姿が印象的だった。看護や医療のさまざまな仕事へのイメージが湧いた」と話した。

講座は10月25日にも開かれる。
(亀山大樹)